

# 2022 年度をふりかえって

理事長 村山 メイ子

私たちがめざす姿を看板にしました。さまざまな生きづらさを抱えている人も、子育てで孤立している人も、地域でつながる場所があることで笑顔になれます。人は誰でも地域で助け合う仲間がいることや、話を聴いてくれる人がいることで、がんばる力につながっていきます。

人と人が地域でつながること、助け合うことは、自立につながる第一歩になります。そんな思いを込めた看板です。



ロゴマーク

ロゴマークもリニューアルしました。デザイナーさんの提案でいろんな人が集まり、いろんなカラーを出し合って助け合う、私たちにイメージしてデザインしていただきました。



看板

## 第 1 号議案 2022 年度（第 22 期）事業報告

### 【重点目標の報告】

#### (I) 不用品寄付で居場所と子どもを支援

寄付された不用品を「たすけあいショップ」で販売しています。収益で居場所・子ども食堂・小学生の学習支援などを賄っています。これらの事業は利用料を徴収しておらず、サービスにかかる費用は神戸市の補助金等を使っていますが、それだけでは足りません。ご不用品の寄付は自由度の高い貴重な資金となっています。おかげで下記の表の通り、寄付財源が少しずつ増えています。

提供者には売上・使途を報告した機関紙に手書きの礼状を添えて郵送することで、寄付金の両面から応援してくれる方が増えました。みなさまの協力のおかげで、今年も居場所と子どもの支援を維持することができました。

多くの方が不用品を通じて、助け合い活動を知る機会になり、人・モノをつなぐコミュニティが生まれています。

今後も不用品寄付と共に、活動への共感とご理解を深めて頂きますようお願いいたします。



	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
会費	59	63	62	66	66
寄付金	91	73	99	132	171
不用品寄付	328	297	246	312	292
合計	478	433	407	510	529

会費と寄付財源(5年間)(万円)

## (Ⅱ) 互助・共助・公助でつながる子どもの相談窓口

住民互助の取り組みと共助・公助が連携することで、子育ての不安や貧困家庭の課題解決につながることをめざし、4つのテーマで事業を実施しました。日頃のふれあいの中で、身近にいる地域の大人が子どもたちを見守り、声をかけていることの大切さを学びました。

子どもの貧困問題啓発  
**講演会 見えない子どもの貧困**  
 講師 湯浅誠 参加者 148名

地域共生社会のための連携と協働  
**勉強会・事例検討会**  
 講師 野村恭代・赤松依里他 10回 96名

子どもの声・親の声を聴く  
**子ども相談窓口の開設**  
 電話・メール・対面・LINE 相談件数 186件

子どもの孤立化を防ぐ  
**地域の大人と交流**  
 木工教室・料理・餅つき 4回参加者 286名



- Instagram
- わいわい広場のお知らせ
- 子どもの活動内容
- どんな先生かな？
- ホームページ
- 問合せ・申込
- 寄付のお願い

問題を抱えるより多くの子どもと親にリーチするためにInstagramを始めました！

左のQRコードを読み取ると左図の画面に移ります。LitLink (<https://lit.link/hntasukeai>) というサイトでインスタ・問合せ・申込・寄付など複数のリンクをまとめています。子ども食堂・食糧支援・学習支援・子どもカルチャー・イベント情報など。ぜひご活用ください。

この事業は「子どもの未来応援基金」により実施しました。助成金終了後も地域住民の助け合いで子どもの未来を応援していきます。

※別途報告書作成しています。ご希望の方はお申し込みください。

## (Ⅲ) お茶とお話「さわやかサロン」

毎週3回、曜日ごとに特色を持たせ、65歳以上の方を対象に多様なプログラムで脳トレ・フレイル予防をめざしてきました。プログラムは皆さんの希望を聴き取り、創作折り紙・川柳・ゲームなど日替わりで充実させました。



お茶とお話 火曜サロン、さくらの創作

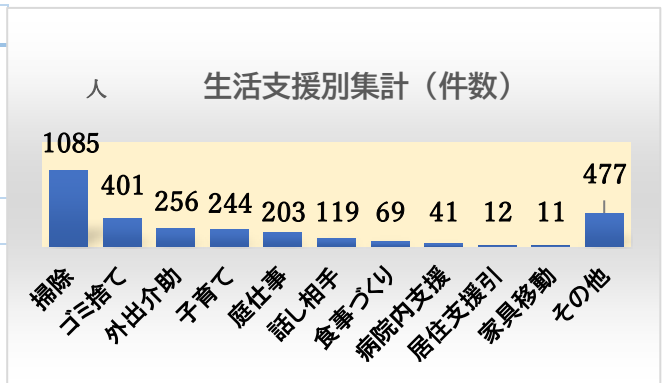
昨年7月より、復活したお茶タイムで、おしゃべりが弾み楽しく過ごして頂きました。3年ぶりに本来のサロンに戻り、楽しそうな笑い声が事務局まで聞こえています。利用料も元の300円に戻しました。あんしんすこやかセンターからのご紹介で新しい方も増え、利用者は1229人で前年度の24%増になりました。

(※この事業は神戸市の補助金を受けている地域拠点型一般介護予防事業 )

【各種事業報告】

1、生活支援(利用者に寄り添い、住民互助で支援する自主事業

相談日時	月・火・木・金・土 10時～18時
内容	制度のすきまのお困りごとや、どこに頼んだらいいのかわかったときの支援事業。子育て支援も行っています。
エリア	基本は東灘区・灘区
料金	入会金なし・年会費なし 利用料 1時間につき 1200円～ 朝のゴミ出し 600円～ 技術的な支援 1600円～



上記の棒グラフは2022年度の生活支援の支援別集計です。一番多いのは部屋の掃除で、次は「その他」となっています。「その他」が多い理由は、カテゴリーにない内容であってもお断りしない姿勢を大切にしているためです。どんな依頼も状況をみながら対応したり、他の機関と連携して解決しています。

また、住民主体訪問サービスの利用が去年の3倍以上に伸びました。断らない支援が進み、制度のすきまの相談が増え、朝のゴミ出しを中心に部屋掃除や買物にも広がりました。各あんしんすこやかセンターにこの活動が浸透したと思われます。

2、居住支援 住宅確保要配慮者のための住まい相談

東灘区・灘区で  
住まい探しに  
お困りの方の  
**住まい相談窓**

無料相談

例えばこんな時にご利用ください

- 不動産屋で断られて...
- 家賃を下げたい
- 階段の上り下りがしんどい
- どこに相談したらいいのかなあ?

★兵庫県の居住支援法人第7号の指定を受けています

ご利用できる方

- 高齢者
- 障害者
- 低所得
- ひとり親
- 子育て世代
- DV被害者
- 矯正施設退所者
- その他

電話 078-843-4446  
時間 10:00～18:00  
■月・火・木・金・土 (日・祝・水休み)  
■ご相談の前にご連絡ください  
■東灘区御影本町 6-15-17 御影指水館

居住支援法人として兵庫県から7番目に指定を受け、4年が経過しました。現在、兵庫県の居住支援法人は5倍以上の38法人に増加しています。

それでも相談件数は年々増加しており、住まい探しの困難に直面している人がいかに多いかを表しています。

この事業を始めたきっかけは「誰もが安心して自分らしく暮らす」という法人のミッションと重なったからです。「安心」の度合いは人によって異なります。しかし住まいは「自分らしく暮らす」ための基盤となる、誰もの共通した願いです。

今年度の傾向は、住まいの退去を余儀なくされた方の相談が増えました。退去期限ぎりぎりになって

慌てて相談に来られる方もいました。賃貸住宅の家賃滞納・賃貸住宅の取壊し・友人宅を出る・仕事をなくし社員寮を出るなど、理由は様々です。

アウトリーチを心掛けてきましたが、「自殺したい」と口走る人・途中で連絡が途絶え終了せざるを得ない人もおられました。住まい探しだけでなく、孤立してる人を支えることも大事な役割です。

### 3. こどもの健全育成

#### ■中学生の学習支援スタート



昨年9月より、塾に通っていない中学生の個別学習が始まりました。学力の底上げをめざし子どもたちが将来の夢に挑戦していく意欲が持てるきっかけをつくりたいと思っています。

日時:月・木・金(17:30~19:00)

教科:英語・数学・国語・理科

講師:元高校の先生/指導経験のある方等

料金:4回 2,800円(3人集まれば実施)

#### ■フードパントリー&弁当配布

食料配布延べ986人/弁当配布延べ819人(無料)

【対象者】

一人親家庭・お子さん3人以上の世帯

コロナ禍の影響を受けた家庭・低所得家庭・他

【申込方法】電話・メール・LINE



### 4. 放課後デイサービスひまわり畑

ひまわり畑 施設長 越智 美恵

学校が休みの日は季節を感じられる場所へお出かけを楽しみました。毎月工作隊と一緒に作るおもちゃは、後の遊びで盛り上がっています。

保護者会は、2期連続で卒業後の進路を取り上げました。2年間学んだことで、使えるサービスについて深く知ることができました。

2年後の2025年3月には利用者の半数近い10名が卒業します。その人達が抜けた後をどのようにして埋めるかが大きな課題です。また、職員の高齢化も深刻です。若い職員が入職したくなるような給与体制を整えることが存続のためには必要となります。

今後は指導員に外部の研修を積極的に受けてもらい、質の向上を図り、重度のお子さまを受け入れる体制を整えていきます。



## 5、自転車駐車場事業

管理責任者 海老名 巖

この1年、感染拡大を防止しながら行動制限緩和が進められて、利用者の減少が止まりました。自転車・原付利用者が徐々に戻り、前年の12%増となっています。

2023年8月から駐車場の定期券や予約がデジタルで行えるようになります。昨年から3回の研修を受け、今後も5月～7月まで24時間対応の「発券機」設置業者（株）アーキエムズ社による実習研修を行います。

	令和4年度	令和3年度
利用者件数	6417 (+12.4%)	5710 (▲2%)
収入金額(万円)	234 (+8%)	219 (▲5%)



### 駐輪職員の待遇基本姿勢

- 職員一人一人の対応が全体のイメージとなる。
- 身だしなみバッチリ・身ごなし軽く、「まだまだ現役」を見せよう。

### 【事業の実施に関する事項】

事業名	事業内容	実施日	従事者	延べ利用者
地域住民を対象とした相談事業 および生活支援事業	日常生活支援	随時	71人	2920
	住主体訪問型サービス	随時		262
	住まいの相談業務 入居前	随時	6人	453
	住まいの入居中支援	随時	6人	137
	子ども相談業務	随時	5人	186
生きがいづくりや仲間づくりを 推し進める交流事業	さわやかサロン(火・木・土)	月12回	6人	1,229
	ソフトヨガ	月2回	1人	133
	英会話	月16回	2人	423
	マンツーマンのパソコン	随時	6人	63
	マンツーマンのスマホ	随時	2人	52
	写経	月2回	1人	184
	パッチワーク	月1回	1人	36
	絵てがみ	月2回	1人	125
	大正琴	月2回	1人	79
	脳トレ健康マージャン	月20回	3人	4,636
	社交ダンス	月3回	1人	105
	ウクレレ教室	月4回	1人	213
お習字	月8回	1人	93	

生きがいづくりや仲間づくりを 推し進める交流事業	フォークギター	月2回	1人	97
	若返体操(背骨コンディショニング)	月2回	1人	138
	同好会 オカリナ	月4回	1人	282
	同好会 詩吟	月4回	3人	212
	同好会 川柳【中止】	月1回	1人	13
	同好会 手話カフェ	月2回	2人	198
	同好会 囲碁・将棋	月8回	4人	540
	ふらりカフェ	月4回	2人	89
	貸会場(日本語教室)	随時	4人	623
資源の有効利用とリサイクルバザー	リサイクルショップ助け合い	月20回	9人	8,226
地域住民の安心・安全な 生活環境を守るための事業	阪神御影駅前自転車駐輪場 子ども110番	毎日	9人	
	クリーンクルー			
	子どもたちの健全な育成及び子 育て支援事業	そろばん	月24回	3人
お習字	月16回	1人	1,681	
こども英語	月36回	3人	1,583	
わいわい広場	月16回	6人	1,665	
長期休暇学習支援	全12回	11人	227	
長期休暇ふれあい食事会	17回	7人	246	
学習支援(小学生)	月4回	4人	317	
学習支援(中学生)	月8回	2人	60	
御影小学校 放課後学習	8回	2人		
弁当配布	月4回	5人	819	
子ども料理教室	随時	8人	22	
フードパントリー	随時	20人	986	
イベント(木工教室・餅つき)	3回	30人	264	
情報発信事業	機関紙 たすけあい通信	年2回	1人	3,000部
	情報誌 東灘ばらボラ	年6回	3人	108000部
	フェイスブック/ホームページ	随時	12人	
活動に関する研修・学習事業	各種研修・視察	随時	25人	477
	ひまわり畑指導員研修	年14回	6人	98
児童福祉法に基づく支援事業	放課後デイサービス ひまわり畑	月24回	15人	1,956